

# 2025 年度 岩手県社会福祉士会実践研究発表会



## 【 実践研究とは？ 】

社会福祉士として、より質の高い支援を提供するためには、自らの実践を振り返り、評価・検証し、研鑽を繰り返すことで力量を向上することが大切です！

また、第三者に対して、援助の意義や効果を根拠と共に適切に説明できる能力も求められます。

さまざまな課題に取り組む社会福祉士の実践を検討し、援助活動について、一緒に考えてみませんか？

1. 日 程 2026 年 2 月 21 日（土） 13 時 00 分～16 時 30 分（受付 12 時 30 分～）

2. 会 場 ふれあいランド岩手 2 階 第 1・2・3 研修室  
オンライン（Zoom アプリ使用）  
※ 会場参集とオンライン参加のハイブリット形式

3. 対象者 (1) 岩手県社会福祉士会会員  
(2) 岩手県医療ソーシャルワーカー協会会員 岩手県精神保健福祉士会会員  
(3) 学生（大学生・専門学校生（通信課程含む））  
(4) その他実践研究発表に関心のある方

4. 定 員 80 名（受付先着順）

5. 参加費 無料

6. 申込方法 以下 URL もしくは QR コードより Google フォームにて  
お申込み下さい。

<https://forms.gle/3DYKXhTACFYbCgiR6>



申込締切：2026 年 2 月 6 日（金） 厳守

7. その他 オンライン参加の方には、当日使用する ID・パスワード等をメールにてご連絡いたします。事前に Zoom アプリのインストールをお願いいたします。

8. 連絡先 岩手県社会福祉士会事務局 伊藤  
〒020-0816 盛岡市中野二丁目 16-1 SET ビル 3 階 A 号室  
TEL019-613-5505 E-mail itou@iwate-csw.or.jp

－ 実践研究発表会スケジュール（予定） －

時 間	内 容
13:00～13:10	オリエンテーション
13:10～13:40	沿岸ブロック：藤澤 慎吾 氏（新たな郷わかたけ 障がい者支援施設かあむ） 沈黙は、支援の危機：社会福祉士の為の心理的安全性 －クライアント中心の支援を支える「勇気ある一言」のカー
13:40～14:10	気仙ブロック：只野 翔 氏（大船渡市社会福祉協議会） 成年後見制度利用促進の弊害と方策 －岩手県気仙地区における成年後見制度利用実態から－
14:10～14:40	権利擁護センターぱあとなあ岩手：岩渕 城光 氏（岩渕社会福祉士事務所） 保佐人として身寄りの無い人を支援した事例の考察 －死後事務を見据えた計画的な介入の必要性－
	休憩 5分間
14:45～15:15	基礎研修①：大西 美穂 氏（岩手県教育委員会・県北教育事務所） スクールソーシャルワーカーの効果的な支援のあり方を考える －当事者や家族・学校が求めること、関係機関との連携－
15:15～15:45	基礎研修②：藤澤 久美子 氏（もりおか復興支援センター青山 コミュニティ番屋） 被災者支援における個別支援と地域支援、その連関について －青山コミュニティ番屋の被災者支援を振り返る－
15:45～16:15	基礎研修③：菊池 早節子 氏（かな障害者相談支援事業所） 医療的ケア児とその家族の遊び場 －遊びの場を通じて地域を知り、地域で育ち、育てる－
16:15～16:30	総評・閉会